

1. 近年の環境情勢について

« 国 »

わが国の第五次環境基本計画は平成30年4月に閣議決定され、環境課題の解決を通じ社会そのものを持続可能な姿に変えることを目指します。分野横断的な6つの「重点戦略」（経済、国土、地域、暮らし、技術、国際）を設定し、各地域が自立・分散型の社会を形成し資源等を補完し支えあう「地域循環共生圏」の創造を推進します。また、7月に第5次エネルギー基本計画が閣議決定され、長期的に安定した持続的・自立的なエネルギー供給を目指し再生可能エネルギーの主力電源化を目指す方針が示されました。

« 佐賀県 »

佐賀県では、環境への負荷の少ない循環型社会形成を推進していくための基本的な方向性を示し取り組んでいくための指針「佐賀県廃棄物処理計画 ～もったいないの心で・・・さが3R推進計画2020～」が平成29年3月に策定されました。また、平成30年3月には「佐賀県地球温暖化対策計画～佐賀の豊かな環境を明日につなげるために～」が改定され、県内における2030年度の温室効果ガス総排出量を2013年度比で約27%削減を目指して、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる“賢い選択”「COOL CHOICE」が推進されます。

« 白石町 »

白石町では、不法投棄を防止するため平成30年6月に「不法投棄防止対策協議会」を設立しました。各関係機関と連携して情報を共有化することにより不法投棄撲滅を目指します。また、環境に関するマナー啓発や情報提供、環境講座を開催し意識改革の取り組みを進めています。

環境対策は広範にわたり、良好な環境を保全し将来の世代に継承してくために、一人ひとりが、常に環境に配慮した行動を起こすことが重要となり、今後も「白石町環境基本計画」の取り組みを推進します。